

<第 159 回> 9月24日(火)

地域の皆様とともに 「自らの地域は自らで守る」

～ 南湖地区自治会連合会防災訓練に参加して ～

【想定】平成 25 年 9 月 14 日(土) 12 時 30 分、相模トラフを震源域とするマグニチュード 7.9 の大規模な地震が発生し、茅ヶ崎市は震度 7 に襲われ、家屋が倒壊し、多数の負傷者が出て、ライフラインなども被害を受け、さらに各所で火災が発生した。

【目的】

この南湖地区自治会連合会防災訓練は、地域が主体となり自主防災組織の強化をすることにより、災害に強い街をつくることを目的として実施する。

【テーマ】

「自らの地域は自らで守る」

【参加者】

約 500 名

- ・南湖地区 6 自治会（茶屋町、鳥井戸、新南湖、上町、中町、下町）
- ・茅ヶ崎市立西浜中学校生徒、神奈川県立茅ヶ崎西浜高校生徒（26 名）
- ・茅ヶ崎市立西浜小学校教職員、西浜中学校教職員、茅ヶ崎西浜高校教職員（6 名）
- ・西浜児童クラブ（いるか倶楽部）
- ・消防分団、消防署職員、茅ヶ崎市配備職員、茅ヶ崎市防災対策課職員

【指導者】

- ・防災リーダー
- ・茅ヶ崎市防災対策課
- ・消防団
- ・消防署職員
- ・茅ヶ崎市拠点配備職員

【当日の訓練内容】

○避難所運営 [担当者]

- ・ホース格納庫の放水訓練（消火訓練）
- ・ロープ結束訓練（救護訓練）
- ・心肺蘇生訓練（救護訓練）
- ・担架搬送訓練（救護訓練）
- ・発電機・チェーンソー訓練（救出訓練）
- ・給食訓練（豚汁、非常食）
- ・煙体験
- ・起震車体験（震度 7）



<受付>

茅ヶ崎西浜高校を揃って出発し、国道 134 号を歩いて、15 分ほどで会場の茅ヶ崎西浜小学校に到着
茅ヶ崎西浜高校所有のヘルメットを着用

※ほぼ中間地点に西浜中学校がある



(左上)

開会式で整列、茅ヶ崎西浜高校
生徒 26 名 + 教職員 6 名

(右上)

開会式での総勢約 500 名

(左)

開会式で挨拶する水島副市長

【生徒用文書】 ※一部修正を加えてあります

南湖地区合同防災訓練（災害発生時初動訓練）

1. 9月14日（土） 小雨実施 ※（何かあれば必ず連絡します）

2. 西浜小学校 南庭

3. 日程 ・12時40分 集合（12時50分 出発）

・13時10分 到着・受付（13時30分 開始～）

※生徒、職員はグループに分かれて訓練に参加

・15時40分 解散予定

★昼食等は済ませて集合してください。

★華美でない動きやすい服装で集合。様々な活動をします。

★緊急連絡ができるように連絡先の一覧を作ります。

★何かあれば事前に相談してください。

★参加記録を残しますので、自分なりの感想をまとめておいてください。

★西浜高校周辺地域の合同防災訓練です。西浜高校も「一時退避場所」※であり、皆さんにも様々な役割があります。緊急時に必要なトレーニングを積んでおきましょう。

★出席する人は西浜高校の代表者としてしっかり参加しましょう。 ※津波発生時



煙体験

※安全を期し、使用している煙は無害で、甘い香りが付いています



起震車体験

※震度7の恐怖



チェーンソー訓練

※ほとんどの生徒は初めてです



ロープ結束訓練

※いろいろな結び方があることを学びました





心肺蘇生訓練 ※説明を聞いた後に、早速練習をしています（簡易型）



ホース格納庫の放水訓練 ※口径が小さく、扱いやすくなっていますが・・・
※放水班と開栓班に分かれて、両方の訓練をたっぷりと行いました



担架搬送訓練 ※防災リーダーの話を真剣に聴いています
※初めての経験で、得るものは多かったようです 非常時に役立てることができるか？



毛布と棒を使って人を運ぶことができました



終了後は「給食訓練」(体育館)



生徒たちは地域の皆様からたくさんの言葉をかけていただきました。ありがとうございます。

生徒たちが笑顔で前向きに取り組んでいる姿、地域の皆様と楽しそうに会話している姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

◆提出された「報告書」より参加生徒たちの意見・感想(抜粋)を紹介いたします
〔印象に残ったこと〕

- ・震度7を体験してみて、立ってられないし、座っていてもしっかりと座れないのがとても怖かった。本当にあんな地震が来ると、とても不安になりました。
- ・地震の体験がすごく怖かった。煙は前が見えなくて、進むのが大変だった。
- ・AEDを使う時、もしその人の体に触れると感電してしまうと言われ、そのくらい強い

電気を流しているんだなとびっくりした。

- 地震の揺れを体験できる起震車はとても怖かったです。でも、本当の地震はもっとひどいから、今から対策をしようと思いました。
- 防災リーダーの人が優しく教えてくれ、縄を結ぶことができた。
- 放水訓練の時、水圧がすごくて、ホースをしっかり持ってないとふらふらしてしまった。
- 煙体験では、自分の想像をはるかに超えていて前は全然見えないし、息も全然吸えなくて、少し怖かったです。チェーンソーで初めて木を切りました。ガレキから救助する時に使えると便利だなと思いました。
- 簡単な結び方で、絶対にほどけないという結び方があって、こんな簡単なのに知らなかったし、どうしてほどけないのかすごく不思議だった。今回こういった結び方を学んだから、いざという時に使えるようにしたい。
- ホースの水圧が私が思っていたより強くて、水を出し過ぎたりすると水圧に負けそうで、体が動いちゃいそうで、怖かった。消防の人は本当にすごいと思った。水って怖い。
- 放水でホースに水が入り、バルブをひねった瞬間、水の勢いで圧力が一気に上がり、消防士さんは火災の際にこんなに重いものを持っていたのかと驚きました。

〔感想や意見など〕

- 茅ヶ崎西浜高校は海も近いし、人数も多いので、避難訓練をしっかりとやるべきだと思う。また、体験にお年寄りが多かったのも、その人たちのためになることができるようになる必要があると思う。
- 暑かったけれど、体験できて良かったです。地域の人もけっこういて、支えあっているのだと感じました。地震の体験では、立ってられなくて、本当にきたらどうなるんだろうと心配になりました。ちゃんと机の脚を押さえなきゃいけないとわかりました。人工呼吸やマッサージは自分たちでもできるので、もしもの時役に立てたらいいと思います。かなり力も要るし、大変でした。大変な時でも落ち着いて、周りの人に「AEDお願いします」と言ったり、協力が大切だとわかりました。高校生として、地域を支えたり、何かあった時に手伝ってあげられることがわかったので、今回学んだことを活かせたらいいと思います。
- もし道で人が倒れていた時に、多分すごくパニックになってしまうと思うけど、今回こういったことを体験したことで、少しは役に立てるんじゃないかと思った。
- 日本は地震が多いので、対策はとても大事だと思うし、訓練に参加することは良いことだと感じた。でも、訓練をしたからといって、油断は禁物。あとは、非常食は多かった。最近の非常食はけっこう美味しいんだと感心してしまった。
- ボランティアをやって、地域に貢献できて、みんなに喜んでもらって嬉しかったので、これからもやっていきたい。
- 震度7の揺れを体験して、とてもすごかった。机が押さえられなかった。縄は使い方によって結び方が変わって、けっこう難しかった。最後に食べた豚汁がおいしかった。
- 今回初めて地域の防災訓練に参加しました。起震車では、震度7の揺れを30秒間体験しました。たった30秒なのに、自分の体への負担がすごくあるなと思いました。終わった後、本当だとこの3倍の時間は揺れるんだと聞き、震災の怖さを改めて感じました。

放水体験では、水の力に驚きました。水が出ると、ホースをしっかり持っていないと、どこかへ飛んでいきそうな感じがしました。ホースを離してしまうと、人が死んでしまうほど大きな事故につながるそうです。人を助ける道具も、一歩間違えれば人を殺す道具になってしまう。少し怖いです。今回はすべて訓練でしたが、本当に震災が起きてしまった時は、この経験を活かすことができればと思います。

- 今の日本はいつ大きな地震が来るかわからないと言われていたから、今回の訓練は本当にためになったし、この訓練を最大に活かして、万が一の時は率先して行動していきたい。今回学んだことは一生役に立つことだと思うから、この体験を大事にしたいし、自信にしたい。
- 友だちと参加しているうちに楽しくなった。今回の防災訓練に初めて参加したんですが、参加して良かったなと思います。どれも災害時に役立つことばかりで、良い勉強になりました。災害時に役立つことばかりなので、もっと多くの人に参加してほしいです。
- 放水する時はすごい力が必要だとわかりました。紐の結び方も普通と違って、いくら引っ張ってもとれなくて、この結び方を考えた人はすごいと思いました。AEDはすごく大きな電気を持っていると聞いて、使う時には絶対近くに人がいる状態で使ったらダメだとわかりました。もし自分の近くで災害が起きたら、今回学んだことを活かして一つ一つ慎重に、みんなの役に立てたらいいと思います。
- 今回の防災訓練を通して、自分が思っていた以上に煙の中では見えないこと、ホースの水圧が強くて後ろへ持っていかれそうになったこと、自分ひとりだけでは実際どれだけ役に立てるのか、ということを考えさせられました。自分の住む地域とこの西浜地域は違うところが多くて、きちんと両方とも覚えて、少しでも手助けできる存在になりたいと思いました。
- 暑い中で行われたためか、開会式の間にも倒れた人がいて、災害で避難する際もですが、普段から気をつけなくてはと思いました。あと、周囲の人とコミュニケーションをとれないと、いざという時に困るのだと思いました。煙の体験では、メガネをかけていても、近くまで来なければ、布がかかっているのにも気づけませんでした。普段はメガネをかけていませんが、そのような時に困ることがわかったので、常時メガネはそばに置いておこうと思いました。自分の地元の方の訓練にも参加しようと思います。



聞き耳を立てています（チェーンソー訓練）



起震車の順番を待つ行列です